学校評価だより

令和７年２月

さくら市立南小学校

「学校評価（教育活動アンケート）」へのご協力ありがとうございました。

南小学校では学校教育目標の達成を目指して「よく考えて勉強する子（かしこさ）」「思いやりのある子（やさしさ）」「からだを丈夫にする子（たくましさ）」の具体目標のもと、教育計画にそった授業や学校行事などに取り組んできました。そして、１２月には本校の教育活動全体について「学校評価」を実施しました。教職員が自己の教育活動について振り返るとともに、児童や保護者の皆様、学校関係者の皆様にも評価していただきました。

その結果、以下のような『よさ』や『課題』が明らかになりました。来年度は、それらの課題の解決に向けた学校改善に取り組んでいきます。保護者の皆様にも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

１　「学校評価」の結果から明らかになった『よさ』や『課題』

（１）明らかになった『よさ』

◎　児童は、楽しく学校生活を送っている。
◎　教職員は、児童の良さを認め、温かく誠実に教育に当たっている。
◎　教職員は「よく分かる授業」の実施に努めている。
◎　学校は、学校運営協議会や学校支援ボランティア等と協力して教育活動や学校経営の充実を図っている。
◎　学校の様子は、各種たより、ホームページ、懇談等で知ることができる。
◎　児童は、思いやりの気持ちをもち、仲良く協力し合って生活している。
◎　児童は、交通ルールを守って安全に登下校している。
◎　ご家庭では、お子様の話をしっかりと聞いてる。

・学校生活の様子や教職員の指導について、児童・保護者とも、９０％以上が概ね良好と評価しています。

（２）明らかになった『課題』

△　児童は、読書をしている。
△　児童は、体力つくりをしている。
△　児童は、好き嫌いをしないで食事をしている。
△　児童は、学校や家庭、登下校の時などに、進んであいさつしている。

・読書については、保護者の３０％が課題があると評価しています。図書室の利用状況や読書の様子には、個人差が見られました。
・体力つくりについては、保護者の３１％が課題があると評価しています。一方、児童は８３％が良好と評価しており、保護者と児童の評価に差がありました。
・食事（好き・嫌い）については、保護者・児童・教員ともに課題があると評価しています。
・あいさつについては、保護者の２７％が課題があると評価しています。学校関係者も２９％が課題があると評価しています。

２　「学校評価」を受けての今後の取組について

・読書については、今後も、読書週間の実施や読み聞かせボランティア等の協力を得て読書に親しむ機会をより充実させていきます。また、「家読」への取組にもさらに力を入れ、読書の習慣化を図っていけるようにしたいと考えています。
・体力つくりについては、季節ごとの体育的行事に向けた体力向上の取組の充実やマッスルタイムの充実、外遊びの奨励など体を動かす機会を多く設けていき、体力の向上を図っていきたいと考えています
・食事については、学校栄養士と連携を図り、栄養指導等食育に力を入れるとともに、給食においては地産地消の推進や行事食等の献立を工夫していきたいと考えております。
・あいさつについては、あいさつの大切さを考えさせる学習の充実、あいさつ運動の実施等により、学校でも地域でも元気にあいさつできる児童の育成をめざしていきたいと考えています。